
QA7-3 物理減衰やウェザリング効果は、どの程度だと考えられるのですか。

A

- ① 放射性のセシウム134の半減期は約2年、同137の半減期は約30年です。事故後6年以上経過していますので、セシウム134の放射能は8分の1(事故後6年として計算)以下に減っています。したがって、放射性セシウム全体の減衰は、事故直後の放射能の60%以下(事故後6年として計算)となっています。
- ② 風雨等の自然要因による減衰(ウェザリング効果)により、推定年間被ばく線量は、更に減少すると考えられています。

統一的な基礎資料の関連項目

上巻 第2章 32ページ「原発事故由来の放射性物質」

下巻 第7章 13ページ「空間線量率の推移(80km圏内)」

出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 上巻 第2章 32ページ「原発事故由来の放射性物質」及び下巻 第7章 15ページ「空間線量率の推移(80km圏内)」より作成

出典の公開日：平成25年3月31日および平成26年3月31日

本資料への収録日：平成29年3月31日